

第28回

日本科学者会議

九州沖縄シンポジウム in 熊本

「口蹄疫問題を考える」

「九州沖縄の水と環境」ほか

様々な分野の研究者が集い、九州沖縄地区の独自の問題を取り上げて、日ごろの研究と活動の成果を広く市民のみなさんに向けて発信するとともに、専門分野をこえた交流を図ります。分野をこえて互いに学びあいながら、問題解決の道筋を探っていきましょう。

なお、このシンポジウムにはどなたでも参加できます。1日だけの参加も可能です。どうぞお気軽にご参加ください。

日 時：10月23日(土)13:30～17:30(第1日目) 受付開始 13:00

10月24日(日) 9:30～12:30(第2日目) 受付開始 9:00

場 所：熊本大学 教育学部3階 3-B 講義室

参加費：500円 (1日目の懇親会参加は別途3,500円をいただきます)

プログラム：

10月23日(土) テーマ① 口蹄疫問題を考える

「2010 宮崎・口蹄疫被害の教訓と再建への課題」 牧村 進 (宮崎大学名誉教授)

「口蹄疫と家畜の殺処分」 中野 豊 (九州大学農学部)

「口蹄疫等の感染症発生と今後の家畜生産」 飛岡久弥 (東海大学農学部)

「口蹄疫被害と地域再生」 入谷貴夫 (宮崎大学教育文化学部)

「口蹄疫に関する国際的危機管理体制」 岡本嘉六 (鹿児島大学獣医学科)

10月24日(日) テーマ② 地域の課題と科学者

「大分市城東地区における、煤塵をはじめとする製鉄所公害の実態と

それに対する運動」 植田謙一 (ばいじん公害をなくす会大分)

「『ミサイル防衛』と地域の平和運動」 豊島耕一 (佐賀大学)

テーマ③ 九州沖縄の水と環境

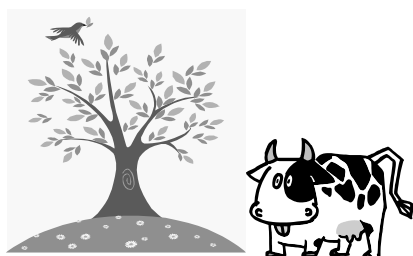
「筑後川水系のムダなダム」 河内俊英 (久留米大学)

「辺野古・大浦湾と泡瀬干潟ー構造改革路線に回帰した政府と県民運動ー」

亀山統一 (琉球大学)

「黙殺される諫早湾調整池発の健康リスク」 高橋 徹 (熊本保健科学大学)

「水俣病救済と現在」 板井 優 (熊本中央法律事務所・弁護士)



主催：日本科学者会議 熊本支部

事務局 TEL/FAX 096-342-2628(藤井)